

受託研究報告書

株式会社パイロットン様

SARS-CoV-2を用いた抗ウイルス性能評価試験

2022年10月28日

山口大学共同獣医学部

教授 早坂 大輔



【概要】

試験実施者 山口大学共同獣医学部 早坂大輔、下田宙
住所：山口県山口市吉田1677-1

電話：083-933-5887

試験依頼者 株式会社パイロットン

試験名 SARS-CoV-2を用いた抗ウイルス性能評価試験

試験開始日 2022年9月20日

【試供検体】

試験品名 TITANIST（対照区はガラスプレート）

供試ウイルス SARS-CoV-2 オミクロン株 BA.2 (TY40-385)

供試細胞 VeroE6/TMPRSS2 細胞

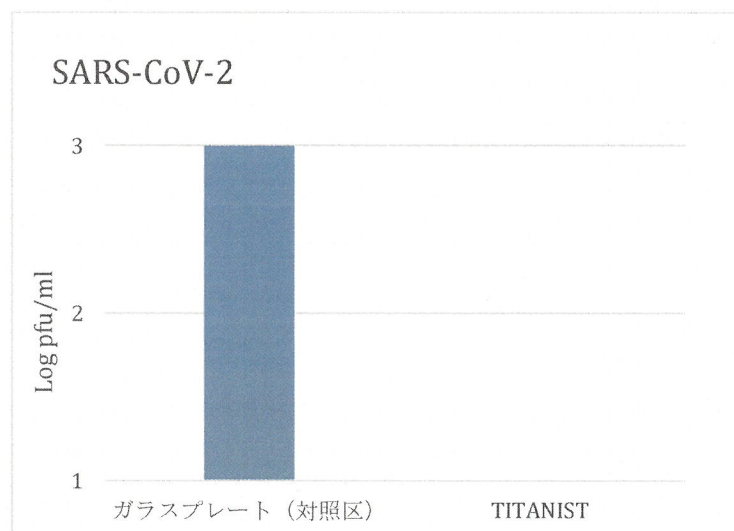
細胞培養培地 2% FBS含EMEM培地

【方法】

1. ウイルス液（SARS-CoV-2 オミクロン株 BA.2）を滅菌MilliQで10倍希釈した。
2. 希釈ウイルス液400 μ lを試験品にアプライし、フィルムでカバーした（N=3）。
3. 照射装置の下で4時間、25°Cで放置した。
4. 3.6mlの2% FBS含EMEMでウイルス液を回収した。
5. VeroE6/TMPRSS2 細胞を用いて、プラーク法によりウイルス力価を測定した。

【結果と考察】

ガラスプレート（対照区）とくらべて、TITANISTのプレートでは4時間後において>99%のウイルス力価の減少がみられた（N=1）。



検体名	Log PFU/ml
	4時間
ave	
ガラスプレート (対照区)	3
TITANIST	1